

定例議会レポート

2013.9月定例会

～市民に開かれた議会を目指して！～



阪本 かつみ

《役職》

議会運営委員会 副委員長

市民生活常任委員会 委員

決算・行政評価特別委員会 委員

政治倫理特別委員会 委員

適正な発注制度及び人員配置に関する調査特別委員会 委員

会派を代表して代表質問に臨む！

質問通告

1. 総合振興計画について

- 1) 次期基本計画に掲げる本市の目指すものとは何か
- 2) 策定にあたって工夫された点は何か
- 3) 市長マニフェストとの整合性について

2. マンション管理の適正化について

- 1) マンション実態調査の実施について
- 2) マンション管理組合協議会設置について
- 3) マンション政策に関する新たな部署の設置について

3. がん対策について

- 1) がん対策推進協議会の設置について
- 2) がん対策推進基本計画策定について

4. さいたま自転車のまち構想について

- 1) 自転車ネットワーク構想について
- 2) 自転車まちづくり課の創設について

5. インターネット選挙について

- 1) 選挙結果をどのように捉えているのか
- 2) 今後の取り組みについて

6. 教育行政について

- 1) 教育に一番大切なものは何か

■ 自転車専用道路の整備計画は？

今年度中に整備形態・スケジュールを含めた「自転車ネットワーク整備計画」を策定し、平成26年度より、概ね10年を目途に200km程度の整備を進めてまいります。

■ がん対策の取り組み状況は？

がん対策を計画的かつ体系的に推進する必要があることから、がん対策に関する基本的な計画を策定し、よりきめ細かい対策を講じてまいりたいと考えております。平成26年度中の協議会等の設置に向け、委員構成をはじめとした具体的な検討を進め、協議会を設置した後に、がん対策推進に係る計画を策定してまいります。

■ 分譲マンションの抱える課題を把握せよ。

来年度より、築年の古い分譲マンションについて、順次、訪問等により耐震化や管理組合の運営状況などについてヒアリングを行ってまいります。



12月定例会は

11月27日(火) 開会予定です。



阪本かつみオフィシャルブログのQRコードです。
お手持ちの携帯電話等でQRコードを読み取ってご覧ください。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト

<http://sakamoto-katsumi.net/>

さいたま市平成 24 年度決算状況について

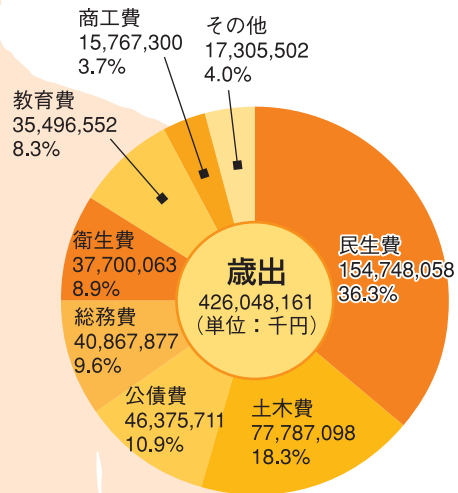
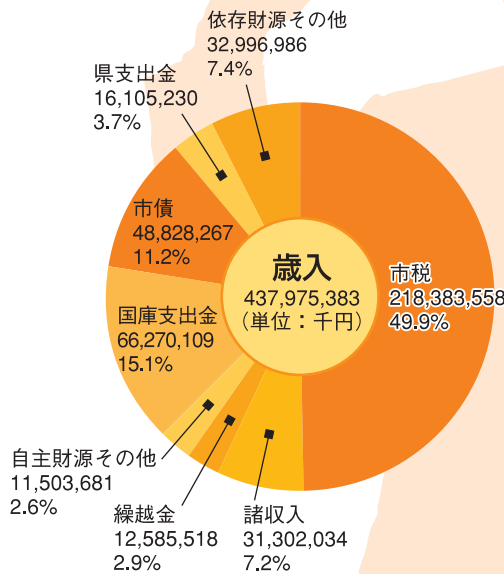
平成 24 年度は、「防災・環境・エネルギー対策」、「高齢者支援」、「子育て支援」の 3 つの分野について積極的に事業を展開するとともに、創造的改革を実践しました。

決算の特徴

- さいたま市誕生以来、歳入歳出とも初めて前年度決算額を下回る
- 翌年度へ繰り越すべき財源は、前年度比13億65百万円(22.6%)の増
- 実質収支は、さいたま市誕生以降、連続して黒字を達成
- 単年度収支は、20 億 23 百万円の赤字

一般会計

歳入決算額	4,379 億 7 千 5 百万円 (前年比 0.8%減)
歳出決算額	4,260 億 4 千 8 百万円 (前年比 0.7%減)



阪本かつみ決算審査における指摘事項

決算審査を通じて明らかになった事実に基づき、平成 26 年度の予算編成にあたり、留意すべき事項について指摘しました。

入札制度について

契約価格が1億円を超える入札案件でくじによる落札決定が数多くみられます。「ランダム係数」による応札価格の決定方式を導入することにより入札制度の公正性を高めるのではないかと考えます。

学校配当金について

本来公費で負担するべきところを寄付等別の形で補っているケースが現実であり、公費で購入するべきものを賄えるだけの十分な学校配当金の配分が必要であると考えます。

教育環境の充実について

児童生徒のより良い教育環境を確保するためには、学校の規模、実状に合わせて、少人数指導等支援員や学級等支援員など補助的な役割を担う人材の増員を図るべきと考えます。

生活保護不正受給者への対応について

約800万円という高額な不正受給が明らかになりました。不正受給に対しては、今後はより一層厳しく対応することを望みます。



予算編成並びに施策に対する提案

9月定例会最終日前の10月21日、私たち会派は、平成26年度の予算編成にあたり、47項目に及ぶ予算並びに施策に対する提案を取りまとめ、市長に提出しました。

財政状況が厳しい中でも、前に進めなければならない事業は何かを、しっかり見極めることが重要だと考えています。